

第1回 地域協働局選定評価委員会（2026年8月3日） 会議録要旨

1. 前年度評価の審議

（1） 主な審議内容

- ・地域活性課が行ったふたば学舎、丸山コミュニティ・センター、地域福祉センターの指定管理者による2025年度の管理運営に対する評価
- ・男女共同参画課が行った婦人会館の指定管理者による2025年度の管理運営に対する評価
- ・地域協働課が行った海外移住と文化の交流センターの指定管理者による2025年度の管理運営に対する評価

について、以下の観点から調査審議を行った。

- ・指定管理者の管理運営実績について、適切に採点・評価されているか。
- ・指定管理者の管理運営内容を偏りなく評価に反映されているか。

2. 意見と結論

選定評価委員会の主な意見と結論は、以下の通りであった。

【意見】

- ・利用者が高齢者に偏るため、若年層や中間層の利用促進が課題である。評価は妥当であるが、取組に対する評価はもう少し肯定的な表現に修正すること。
- ・こどもの居場所づくりやコミセンルーム事業が好調で、こどもの地域拠点として機能している。
- ・利用者の固定化と高齢化が課題であり、大学生や若年層へのPR強化が必要である。
- ・アンケート回収期間の通年化・件数が限定的であり、通年化や対象拡大の検討を要望する。
- ・施設の愛称やPR方法の検討を要望する。
- ・アンケート結果は良好だが、回収数が少ないため回答促進策の検討を要望する。SNS運用やホームページとの連携強化も課題である。

【結論】

審議の結果、所管課が行った各施設に対する評価は、いずれも妥当である。